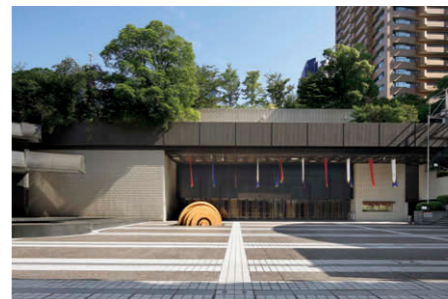


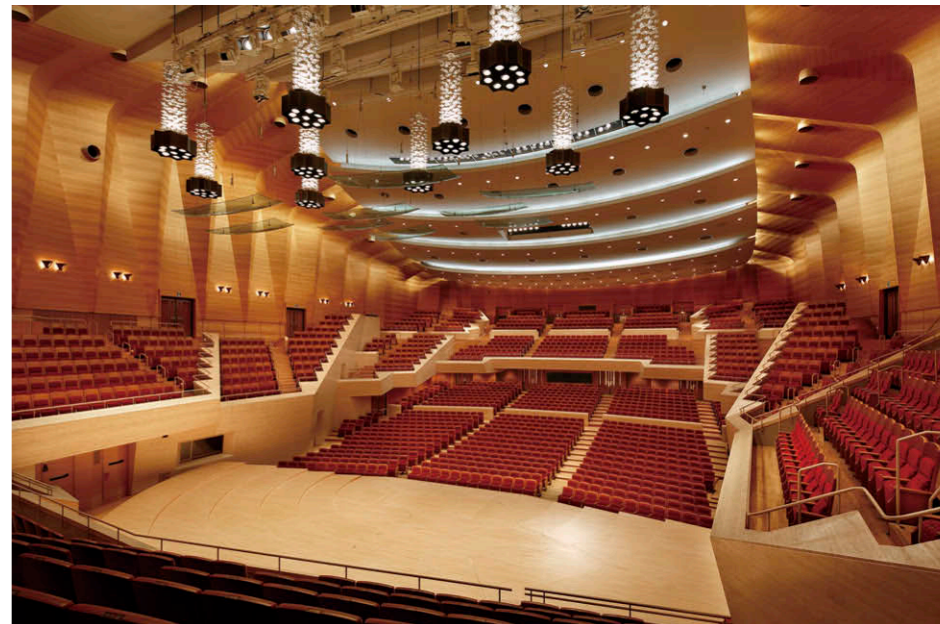
クラシック音楽の殿堂であるサントリーホールが開業 30 周年を迎え、大規模リニューアル。

「伝統の継承と革新」をテーマにした今回のリニューアルにおいて、舞台照明はシャンデリアと客席照明（一部を除く）の LED 化を実施。格調高いコンサートホールを、東芝のあかりで美しく照らしています。

サントリーホールは、東京・赤坂にあるアークヒルズの一面に、1986年10月に開館した音楽コンサート専用ホールです。大ホールは、舞台後方にも客席がある日本では初のヴィンヤード（ブドウ畑）形式で、全2,006席がブドウの段々畑状にステージに向いているため、音楽の響きはすべての席に降り注ぐようになっています。「世界一美しい響き」をコンセプトに掲げ、音響的にも視覚的にも演奏者と一体となって互いに臨場感あふれる音楽体験を共有できます。



【物件概要】  
所在地：東京都港区赤坂1-13-1  
建築面積：3,022㎡  
延床面積：12,516㎡  
構造・規模：地上3階、地下2階  
施主：サントリーホールディングス(株)  
設計：(株)安井建築設計事務所  
(株)入江三宅建築設計事務所  
施工：建築/鹿島建設(株)  
電気/㈱きんでん  
リニューアル完成：2017年9月



LED化したステージ地明かり用シャンデリアと天井間接照明④、壁面コーニス照明⑤  
ステージフロア上の平均照度は1400ルクス

「伝統あるホールの雰囲気」をそのままに、省エネ効果の高い LED 照明を導入しました

2016年に開業30周年を迎え、過去最大規模の全館の改修工事が行われました。改修は、「世界一美しい響き」のコンセプトと「ホールの意匠」を損なうことの無いように、「伝統の継承」「ダイバーシティデザイン」「設備のさらなる充実」をテーマとして、時代に対応した機能の追加を重点としています。

照明においても、「ホールの雰囲気」をそのままに、省エネ効果の高い LED 照明を導入しました。

シャンデリアは舞台のベースライトとしての機能を担うと同時に上部のクリスタルを華やかに煌かせることにより、パイプオルガンと合わせてこのホールのシンボルとなっています。そのため、外観を一切変えずに、内部の光源のみを LED にしました。ベースライト部分は、従来使用していたハロゲン電球と同様に、調光とともに色温度が変化する「調色ダウ

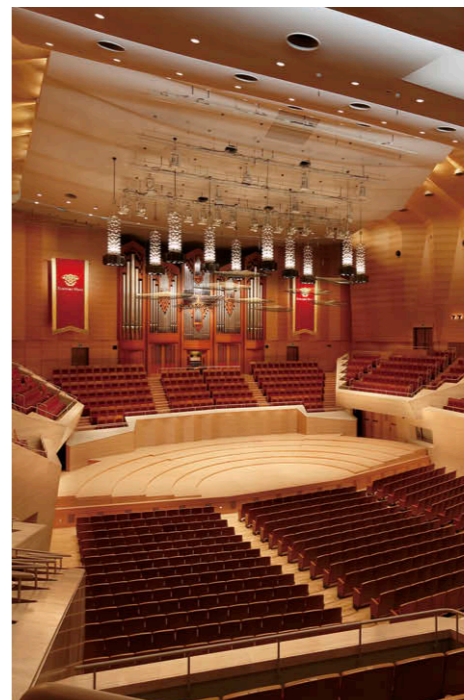
ンライト」を採用。上部のクリスタル用照明は、適切な設計を施した専用器具により、以前と同じようなきらめき感を再現しました。

客席照明（一部を除く）にも調色ダウンライトを導入。ヴィンヤード形式の客席をムラなく照らすようにダウンライトの設置位置ごとに LED の出力を調整するとともに、多様な天井面の傾斜角度に対応するため、取付時に照射方向の調整ができるようにしました。

客席間接照明には専用の LED スポットライトと LED ベースライト TENQOO を設置し、ホワイトオーク材があしらわれた暖かみのある内装を華やかに照らしています。

ホールの稼働率が高いため、LED 化により大きな省エネ効果が得られました。また、舞台上部の温度上昇が抑えられ、演奏環境の向上に貢献しています。

大ホール全景 ステージ上に吊り下げている地明かり用特殊シャンデリア10基を設置①



客席上段からステージ方向を望む②



ステージ地明かり用特殊シャンデリア ①LEDアッパーライトによりクリスタルガラスを美しく演出

サントリーホール(大ホール)  
撮影/黒住 直臣

主な納入器具一覧				
設置場所	器具名(品名)	形名	台数	備考
大ホール	①LEDシアター用ダウンライト調色タイプ	特注	129	消費電力：18.0W～40.0W
		特注	36	消費電力：89.5W
	②LED間接照明	特注	99	消費電力：20.0W
		特注	90	消費電力：20.0W
		LEKT407403W-LD9+HR-4125NL	96	消費電力：24.8W
	③LEDシャンデリア用照明	特注	10基	消費電力：885.5W(1式あたり)
		RDM-PWM変換ボックス	AL-RDM5C-4	27
	DMX分配器	DMX8Sprit	6	内1台既設分岐盤3へ実装